

流体総 第 9 号
平成 29 年 9 月 8 日

各 位

東北大学流体科学研究所長
大 林 茂
「公印省略」

流体科学研究所教員公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究所では、下記の要領により教員を公募することになりました。

つきましては、貴学及び関係機関等に適任の方がおられましたら、ご推薦賜りますようお願い申し上げます。

謹 白

記

1. 専門分野及び公募人員

所属研究部門	研究分野	公募人員
未到エネルギー研究センター	エネルギー動態研究分野	助教 1名

2. 研究・業務内容

再生可能エネルギーの高度利用および高エクセルギー効率燃焼による調和的なエネルギー利用を通じた、低炭素社会の実現に資する研究・教育を推進する。

3. 応募資格

博士の学位を有し、上記の専門分野で顕著な業績を有する者。

なお、東北大学は、男女共同参画を積極的に推進している。子育て支援の詳細等、男女共同参画の取り組みについては下記 URL を参照のこと。

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/danjyo/>

4. 任用予定年月日 平成 30 年 4 月 1 日（日）

（東北大学教員の任期に関する規程第 2 条に従い、任期は 8 年、再任の場合は 2 年とし、1 回を限度とする。）

5. 公募締切日 平成 29 年 12 月 4 日（月）必着

6. 応募書類

(I) 履歴書

(II) 業績リスト※

- ① 学術論文（掲載誌の最新のインパクトファクターも記すこと。）
- ② 解説論文（同上）

- ③ フルペーパーで査読を受けたプロシーディングス論文
- ④ 著書
- ⑤ 国際会議・国内会議における招待講演（本人が講演したもののみ）
- ⑥ 国際会議での発表状況（⑤に該当するものを除く。発表者を明確にすること。）
- ⑦ 国際会議あるいは国内会議における実績（組織委員・実行委員等）
- ⑧ 特許取得状況（出願あるいは登録の別も記すこと。）
- ⑨ 海外および国内の研究者との共同研究実績
- ⑩ 受賞
- ⑪ 競争的研究資金の獲得状況
- ⑫ その他特筆すべき業績

※ 作成に当たってはそれぞれ別葉とし、①から⑥については共著者名を、⑧については共同発明者を全て記入し、応募者にはアンダーラインを付すこと。また、①から⑧については応募者の分担した役割を明記すること。①から⑥についてはサイテーション数を適宜記すこと。その際、サイテーション数の出典を明記すること

(Ⅲ) 上記①から④の主要な業績 5 件の別刷（コピーでも可）

(Ⅳ) 主要業績 5 件以内の概要（各 500 字程度）

(Ⅴ) 当該研究部門に着任した場合の研究・教育に関する抱負

(Ⅵ) 応募者に関する問い合わせ先の氏名、勤務先、役職、住所、電話番号、E-mail アドレス（3 名程度。日本人に限定しない。）

上記書類は、すべて A4 版横書きとし、それぞれ別葉とすること。

選考の過程で、追加資料の提出を求められることがある。応募書類は返却しない。

7. 応募の問い合わせ先

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1 番 1 号
東北大学流体科学研究所
教授 丸田 薫
TEL&FAX 022-217-5319
E-mail maruta@ifs.tohoku.ac.jp

8. 応募書類の提出先

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1 番 1 号
東北大学流体科学研究所
所長 大林 茂
TEL 022-217-5300
FAX 022-217-5311
E-mail director@ifs.tohoku.ac.jp

なお、流体科学研究所の概要については、<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/> をご覧下さい。

参 考 事 項

未到エネルギー研究センターは、流体科学における多様なエネルギー研究の連携により、基盤エネルギーおよび新エネルギー分野において、高効率で無駄の無い革新的なエネルギー利用体系を実現するため、従来有効なエネルギー変換が困難であった未到エネルギーの変換やエネルギー貯蔵、輸送、および保全に関する研究を行う。本センターの所属研究分野は、東北大学大学院機械系、工学部機械知能・航空工学科の協力講座として、教員は機械工学関連科目の講義を担当している。

本教員公募により、次のような研究の推進を計画している。

研究部門名 (研究分野名)	研究内容
未到エネルギー研究センター* (エネルギー動態研究分野)	<p>再生可能エネルギーの高度利用および高エクセルギー効率燃焼による調和的なエネルギー利用を通じた、低炭素社会の実現に資する研究。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 再生可能エネルギー起源、バイオ・合成燃料等の高精度な化学反応機構の構築に関する研究2. 微小重力場等の極限環境を利用した燃焼限界の機序解明に関する研究3. マイクロ燃焼・緩慢燃焼等の新概念燃焼技術の創出に関する研究4. 上記の研究に資する理論および数値解析、計測技術に関する研究

* グリーンナノテクノロジー研究分野、地殻環境エネルギー研究分野、エネルギー動態研究分野、システムエネルギー保全研究分野、混相流動エネルギー研究分野、エネルギー科学技術研究分野、先端エネルギー工学研究分野、次世代電池ナノ流動制御研究分野の8分野から構成される。